

2025 年 9 月 21 日聖霊降臨後第 15 主日 メッセージ

アモス 8: 4～ 7    1 テモテ 2: 1～ 7    ルカ 16: 1～13

「不正にまみれた富で友達をつくりなさい」

今日のイエスさまが語られたこの御言葉には、私たちが簡単に「はいわかりました。明日から私たちもそうします」とお答え出来ない難しさがあります。

それはこの管理人が「きっと悪い事をしていた」と私たちが考えるからです。けれどこの人を「絶対に悪い人だ」と、私は決めつける事が出来ません。確かに「主人の財産を無駄遣いしている」と告げ口をする人がいたのなら、それは本当の事かも知れませんが、だがそこに必ず「何かの事情」があるはずです。

どうして主人に「告げ口」をする前に、その事情を直接に聞く事をしなかったのでしょうか。「無駄遣い」と告げ口をした人に思えるお金も、何か意味のある物だったのだと私は思います。

もし本当に自分のために悪い事を企む人ならば、簡単に分かるような無駄遣いなどしません。もっと上手く分からないように盗みます。もっと悪い人は必ず罪を誰かに着せます。または自分より弱い者から金を奪って、無くした穴埋めをしようとします。

けれどこの使用人は、まったくそれをしません。むしろ逆に困っている人たちひとりひとり呼び出しては、抱えている借り物の量を聞きはじめます。そしてその答えを聞くと、それに合わせて「油百バトスは五十バトス」「小麦百コロスは八十コロス」と細かく書き直させます。

主人はこれを「抜け目の無いやり方」と褒めます。一体どこが主人のめにとまったのでしょうか。主人に借りのある者たちの、負債を勝手に安く書き換える事は、主人にとっては「何よりの無駄遣い」のはずです。

「この世の子らは、自分の仲間に対して、光の子らよりも賢くふるまっている」

この世の子とは私たち「罪人」のことです。この世に生きている限り、私たちは罪を犯し続けています。それはこの管理人とまったく同じです。

「それならば自分が主人から預かっている大切な財産を、自分の仲間のためにどんどん使ってしまう」

この大胆な決断を主人は褒めました。

「どうせ罪人なのだから、困っている仲間のために、喜ぶように財産を使おう」この発想は、今の混迷を深める世界に、何よりも大切なイエス・キリストからの愛にあふれた救いのメッセージです。

世界中で「〇〇ファースト」を叫ぶ人たちは、明かにイエスさまのメッセージから、最も遠くにある人たちです。彼らは自分の事を「光の子」と信じています。自分たちの栄光ある歴史を、陰の世界から這い出して来た者たちが蝕んでいる。だからお前たちに居場所はない。お前たちに与える金はない。お前たちはここで生きることは許されな

い。彼らはそう主張します。

なんと愛の無い言葉でしょう。そして今、貧しい人たちや恵まれない人たちが、先頭に立って怒りの言葉を上げています。世界中で戦いが起こっています。また銃規制がゆるいアメリカでは、狙撃による暗殺事件が相次いで起こっています。

同じ国で生きている人でも、政治思想が違っただけで、暴力の標的になります。日本でも最近ではニュースで、毎日のように暴力事件の報道があります。これは、明らかに今世界中で戦争が激化している事と、深い関係があります。

世界中で人の生命がどんどん失われています。戦争ほど人間を無駄遣いする活動はありません。繊細な人たちは戦争になると、真っ先に「無駄な人間」として排除されます。戦争で価値があるのは軍隊です。まず兵器と兵士として戦う人間です。戦争を支える武器を作る工場と、戦争資金を生み出す企業と、今は情報戦略を担う、コンピュータを扱う特務機関です。

最も悪いのは戦争を推し進める国です。日本の教会はこれを押し止めるためにあります。私はキリスト者として、武器を持って人を攻撃する事をしません。もう高齢者ですが、日本が戦争になれば真っ先に、戦争への反対を表明します。

私たちはそれぞれが、神さまから与えられたいのちの管理者です。確かに今、「いのちの無駄遣い」をしています。けれど私のいのちは「国から与えられた」のではありません。私たちのいのちはみんな「神さまが与えてくださいました」。だからそのいのちを互いに奪い合うのは、神さまに背く一番の罪だと信じます。

「不正にまみれた富で友達をつくりなさい」

イエスさまのこの御言葉は、2025 年の 9 月を生きる私たちに、大変に心強い愛のメッセージです。この仲間は決してあなたに富を与えません。あなたがこの人たちに、自分の不正にまみれた富を使って貰うのです。

間違ってもあなたの富を、仲間を攻撃する者たちに預けてはなりません。それは世界を破壊する兵器に変わります。残念ながら世界には「戦争を起こしたい」という不正な管理人が大勢います。この人たちは「まず主人を亡き者にしよう」として悪だくみをしています。

私たちの教会は、イエス・キリストを通じて、世界中の教会と一つにつながっています。さらに真実の愛は宗教の違いや有無を超えて、国家や民族や地域を超えていきます。イエスさまは言われます。

「どんな召し使いも二人の主人に仕えることはできない。一方を憎んで他方を愛するか、一方に親しんで他方を軽んじるか、どちらかである。あなたがたは、神と富とに仕えることはできない。」

神さまを愛して、平和の中に貧しく愛を持って、仲間と共に生きましょう。